



2023年9月28日

各位

会社名 株式会社 i s p a c e
代表者名 代表取締役 CEO 袴田 武史
(コード番号: 9348 東証グロス市場)
問合せ先 取締役 CFO 野崎 順平
(TEL. 03-6277-6451)

ペイロードサービス契約に関するお知らせ

当社米国子会社である ispace technologies U.S., inc. (以下 ispace U.S.)は、下記の通り、米国に本社を構える民間企業とペイロードサービス契約に関して、本日付で取締役会にて承認決議を致しましたのでお知らせいたします。

記

1. ペイロードサービス契約締結予定先企業

(1) 社名	民間企業
(2) 事業内容	赤外線衛星、小型衛星、宇宙粒子物理学等に用いられる技術開発
(3) 所在地	米国

2. ペイロードサービス契約の概要

当社グループは、月に輸送する物資である顧客の荷物（ペイロード）を当社グループのランダーやローバーに搭載し、月まで輸送するペイロードサービスを提供しております。本サービスには、ロケットの打上げから月面へのペイロードの輸送は勿論のこと、打上げの約1~2年前頃を目途に開始される、顧客のペイロードをランダー及びローバーに搭載するための技術的なアドバイスと調整、更には月面到着後の実験や、これらに関連するデータ通信等に係るサービスの提供まで含まれます。当社グループでは、基本的に一機のランダーによる一回の月着陸及び月面探査のプロジェクトを「1 ミッション」と定義し、ミッション単位で事業を運営しております。本契約はミッション3での打上げを前提として契約としております。

3. 日程

(1) 取締役会決議日	2023年9月28日
(2) 契約締結日	2023年9月中(予定)

4. 業績への影響について

ペイロードサービスについては、ミッションまでの期間や顧客の準備状況等に応じて営業活動を推進し、顧客と基本合意(MOU)、中間契約(Interim PSA)、ペイロードサービス契約書(PSA)と段階的に契約関係をアップデートしていくことが、契約にあたっての基本的なフローになります。

すが、今回の契約は従前公開している Interim PSA には含まれず、新規の最終契約締結が見込まれるものになります。本件は今期中の契約締結を既に見込んでいた先柄であり、最終契約をもって今期における売上計上が確定し、原価回収基準に従って順次計上していくこととなります。本件は 2024 年 3 月期通期連結業績予想に織り込み済みであり、業績予想に与える影響は軽微であると判断しております。なお、今後の業績に重大な影響を与えることが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

(注 1) 原価回収基準とは、履行義務を充足する際に発生する費用のうち、回収することが見込まれる費用の金額で収益を認識する方法をいいます。当社では監査法人との協議の基、ミッション 3 迄の期間は原価回収基準を採用することとしております。ミッション打ち上げ以前の段階においては、開発に伴い発生した原価と同等の金額を売上として計上し、ミッション完了時にミッションの総契約金額から、それまでに計上した売上を除いた金額を完了時の売上として、一括にて計上いたします。そのため、事業進捗にかかわらず、開発の進捗によって売上が当初予想から前後する可能性がございます。ミッション 4 以降、売上の計上基準が変更となる可能性がございます。

以上